

令和6年度 東江地区福祉活動計画

重 点 課 題

東江地区社協活動の情報が行き届いていない

事業名

東江地区社協普及啓発

地域の課題（背景）

- ・東江地区社協活動の周知が不足。
- ・東江地区社協への関心が低い。
- ・自治会によって行事への参加に温度差がある。

推進方法（地域で出来ることをより具体的に記入）

①東江地区社協だよりを発行

- ・地区社協の活動報告や行事の案内をお知らせする情報紙を年数回発行する。
- ・事業の実施以外にも、学校行事や関係団体の紹介や啓発記事を掲載する。
- ・役員間でSNS（LINEなど）を使い、地区社協として発信できる情報を共有し、掲載記事を検討する。
- ・地区全体に周知するため全戸配布する。
- ・編集作業に負担が大きいため、役員で協力する。また編集の担い手の増員をする。

②東江地区社協の啓発用品を活用

- ・身近にある住民が必ず寄る場所（ゴミステーションなど）に設置された掲示板を有効に活用し、地区社協や地域の行事をお知らせしたりして、情報を提供する。掲示板から提供された情報が住民同士の会話のきっかけとなるようにタイムリーな情報を掲示する。
- ・各自治会長にさまざまな情報の掲示や活用を再度お願いする。

自助(自分でできること)

- ・東江地区社協の活動情報を広める。

公助（行政や社協に依頼すること）

令和6年度 東江地区福祉活動計画

重点課題

高齢者への見守りが不十分である

事業名

高齢者の安全確保

地域の課題（背景）

- ・ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯が年々増加している。
- ・地区の役員（民生委員児童委員・福祉推進委員）だけの見守りに限界がある。
- ・地区の高齢者が集い、楽しく過ごす時間がほしい。

推進方法（地域で出来ることをより具体的に記入）

①ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の見守り

- ・75歳以上の高齢者、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、年末見守り訪問を実施する。
- ・高齢者を対象に、高齢者を囲む会・ひとり暮らし高齢者のつどい「つ長良まいか」を開催する。
- ・実施にあたって自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員などの協力をいただき開催する。
- ・民生委員児童委員、福祉推進委員を中心とした平素からの見守りを継続する。

②生活安全教室

- ・交通安全教室を実施し、地域の事故防止のため住民に参加を呼びかける。
- ・海津警察署等の協力を得て、多世代が聞いてもわかりやすい交通安全を学ぶ。
- ・悪質商法などについて消費生活講座で学ぶ。

自助(自分でできること)

- ・隣近所のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を日頃から気にかけて、見守っていく。
- ・行事、イベントの際はできる範囲での送迎を行う、声をかける。

公助（行政や社協に依頼すること）

令和6年度 東江地区福祉活動計画

重点課題

子どもの登下校が危険である

事業名

子どもの見守り

地域の課題（背景）

- ・児童、生徒の登下校時を見守る住民が少ない。
- ・不審者情報が多い。
- ・下校時の低学年への見守りを強化したい。

推進方法（地域で出来ることをより具体的に記入）

①東江地区子ども見守り隊

- ・小学校からの要請に基づき、見守りの体制を整える。
（集合場所、送迎ルート、送迎時間の確認が必要。各自治会への周知も必要。）
- ・安心して児童、生徒が登下校できるよう、地域住民が協力して見守り活動に参加する。
- ・東江地区社協が主体になって地域住民に見守りを呼びかける。
- ・登下校の時間帯以外でも、畑仕事や散歩しながらでも、気軽に見守り活動に参加していただけるよう工夫する。（車の中にベストを吊るすなど）
- ・見守り活動の際には、防犯の啓発も兼ねて、見守りベストを着用し活動する。また、必ず見守りベストを着用するように周知する。
- ・見守りボランティア活動への参加を更に周知する。

自助(自分でできること)

- ・積極的に参加し、参加を呼びかける。

公助（行政や社協に依頼すること）

令和6年度 東江地区福祉活動計画

重点課題

世代間のつながりが乏しい

事業名

世代間交流事業

地域の課題（背景）

- ・自治会単位での世代間交流事業は実施しているが、地区全体の交流がない。
- ・近隣住民の関係が希薄している。
- ・幅広い世代の方に参加してほしい。
- ・参加者を増やしたい。

推進方法（地域で出来ることをより具体的に記入）

①サロン東江の開催

- ・月1回サロン東江を開催する。
- ・サロンへの参加を呼びかけるとともに、積極的に参加する。
- ・月ごとに、地区内の各自治会集会所で持ち回りで行うなど、開催場所を工夫し、参加者を増やす。
- ・高齢者に限らず、子どもや働く世代が参加できるように、開催日時についても検討する。
- ・地区社協として、地域での交流が広がるように、サロンを積極的に推進する。
- ・サロン通信、案内チラシを発行する。自治会へ配布する。

※地区社協として、自治会での近隣ネットワーク、サロン、老人クラブなどでの三世代交流を推進する。情報提供や参加への勧奨など、地区社協で協力できることを実施する。

自助(自分でできること)

- ・積極的に参加する。
- ・事業の啓発活動を工夫する。

公助（行政や社協に依頼すること）